

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：株式会社 土佐料理 司 様
開催場所：グリーンパークほどの
(高知県吾川郡いの町清水程野)
「土佐料理 司 鮎を育む森」
開催日：令和4年5月23日(月)
参加者数：21名(土佐料理司様、いの町、
高知中央森林組合、高知県)



清流・仁淀川の支流である枝川川の上流に、株式会社土佐料理司様・いの町・高知中央森林組合・高知県との協定森林があります。この協定は平成20年8月に締結し、以来5期約15年にわたりご協力いただいています。

令和4年5月23日に、第10回となる交流活動が行われました。

開会式では、いの町長の池田牧子氏、株式会社土佐料理司代表取締役社長の竹内太一氏、高知中央森林組合代表理事組合長の曾我修氏から、ご挨拶いただきました。

<開会式の様子>



高知中央森林組合
曾我修代表理事組合長



株式会社土佐料理司
竹内太一代表取締役社長



池田牧子の町長



開会式の後には、まず、高知中央森林組合の職員の皆さんから、間伐方法の説明を受けました。



現地へ移動したら、いよいよ社員の皆さんによる間伐の時間です。急峻で木が混み合っていた場所のため、安定した足場を確保するにも一苦労していました。森林組合の方に習ったように受け口を作りますが、若齢の木でも切れ目を合わせるのはなかなか難しいです。森林組合の方に切り口を修正してもらいながら、次々と切り倒しました。



伐倒方向を確認しながら、切り進めていきました。伐倒した後は、達成感を感じられているようでした。



最後に少し丸太切り体験をして交流活動は終了となりました。お土産に輪切りにしたヒノキをお持ちいただきました。協働の森での間伐が、清流・仁淀川の保全につながることでしょ。また来年もお待ちしています！

人が森を助ける。
森が人を助ける。

